THE WOMAN'S WEEKLY

第三巻第四號

大正六年一月廿六日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□人の不足を告ぐる昨今……小橋三四子
□時事週評……
□教育ある主婦へ(中)……高島平三郎
□花々しき米國の婦人運動(一)……鈴木伊紀子
□倫理物語「落花生の殻」……近藤浩
□名物教授マクベスを講ずる三谷民子女史……民子
□重態にある野口小蘋女史……清子
□噂……
□織物研究 毛織物の見分け方……山田□作
□北方の産物を輸入せよ……新雲
□臺所化學の生む經濟品……村松石子
□寒い日のお惣菜……和田むめお
□オハナシ「雪姫物語」(下)……花崖
□小説「力」……木内錠子
□短歌「わかれ心」……安中花子
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵送料五厘

婦人週報社

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

昨今の寒空に
千萬金にも
代へられぬ
お肌のアレを防ぐは

オキシナー

唯一つあるのみです
本品(オキシナー)の
最大特色は色を
根本から白くする
のですがアレを防ぐにも天下一品です

定價	
大	四十錢
小	二十錢
送料	四錢

本舖
東京赤阪溜池
オキシナー商會
電話新橋三六二六
振替東京三四〇〇九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人の不足を告ぐる昨今

口文化を促進する機運か

一兩年前迄は、常に人口の過剰を患へて居つた我が日本も、昨今は殆ど其の人が何れへか吸ひ込まれて終つたかのやうに、女中にも小僧にも職工にも、人が無くて困つて居る有様となりました。今までは人手の多さに安い賃銀で、人を餘分に使つて居つた家庭や、商店や、工場が、初めて勞力の尊さを知り、人物經濟を行ふ事になれば、これも誠に世の文化を促進する一つの機運となりませう。

口眞劍な働らき振り

勞力を尊重する事を知らぬ間の人間は、働らきがいかにも遊戯半分であります。嘗て私の教へを受けた英國婦人が、大層歌の上手な人でありましたが、「何處でお習ひになりましたか」と問ふと、「私は倫敦の有名の歌ひ手に廿四五時間ついたのみで、餘は大方獨習です」と申されましたが、其の廿四五時間は、一週一時間必ず十圓も二十圓もの謝禮を拂つたのに違ひありませぬ。謝禮から云へば高いやうですが、其の一時間には教へる人も習ふ人も、全精力を籠めて過すので、だら〳〵と習ふ人の二三ケ月にも比敵するのでせうと考へて見れば、廿四五時間は決して尠い時間ではないと思はれるのでした。また或る時長井博士夫人テレーゼの君が、日本に來て何もかも結構に思ふが、只一つ獨逸のやうな女中の無いのに困ると仰つた事がありますが、成る程と點頭かれるのでした。既に立派な職業を持つた人さへ眞劍な働らきの意味を知らない國に於ては、女中に職業の觀念を與へる事の六ケ敷いのは申さずともの事であります。それ故少し大きな家になれば、女中の爲めに女中を増して行かなければならぬやうな不經濟が行はれて居る事は稀らしくありません。

口奉公人根性の發揮

今日では人は不足して居るが働らく人自身は、まだ職業の意味を解さないと云ふ有樣で、何處に行つても食ひはぐれはないと云ふやうに、割合に高い賃銀を取つて、我儘を望み、一錢でも待遇のよい方に舞つて行くといふ奉公人根性の極く惡い所を發揮して居りますが、これがもう一歩進めは、雇ふ方では相當の俸給は與へるが、責任を重んじて其務めを立派に行ふ者でなければ、寧ろ俸給の浪費を避けて人を使はぬ方がよいとの方針を取るやうになると、働らく人に俸給を貰う以上は其の責めを果さなければならないとの自覺を促がす事になりませう。殊に我が勞力が高く買はれる處から一分時を疎かにしてはならぬとの自重が、自然に加はつて來るでせう。かうなつてくれば今日のやうに働らいて居るのか、居睡つて居るのか、遊んで居るのか、一向分らないやうな働らき人は、陶汰されて行くにきまつて居ります。

口勞作經濟の餘地

人間の拂底は一方に勞作經濟の住み方、暮し方や執務振りを教へる事になりませう。今では一人や二人の家族でも、仕事の上には差支へないが、外出する

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時、留守居がなくて不自由だと云つて、人一人を雇入れて置くやうな場合を往々聞きますが、戸締りの方法や、留守中の來訪者の便宜等を、少し考へて家に工夫を施せば、留守居一人雇ひ入れずとも濟む事になりませう少し多人數の家庭に於ても、瓦斯も水道もある世の中故、臺所の設備を工夫し、家内の整理をよくすれば、女中の二人の所は一人に、一人の所は置かずに濟ますといふ事も出來ませう。

□事務所や商店に於ても

事務所や商店も、人の遣ひ過ぎや、設備の不完全が多々あるに相違ありませぬ。多年外國に在つて商業を研究して居つた人が、日本の有名な百貨店を見て、あんなに散漫に物を並べて置いては、買う方も不便であり、賣り手も骨が折れて仕方なからう。また折角品物の撰擇に集中しやうとする處を、音樂堂から起るピヤノやヴイオリンの音に注意を亂させるやうにするのは、不得策だと申して居りましたが、次第に世が繁劇となつて、買物するに遊戯半分ですする人が尠くなれば、今の設備は大に考ふべき處であります。目賀田男爵夫人は嘗て、「日本のやうな貧乏國ではイルミネーションなどに澤山の費用を掛けないで、其分で品物を安くする方がよい」と申された事がありますが、凡てが内容の割に大仕掛けな今日の商店組織は、經濟上考ふべき處であらうと思はれます外國漫遊客が、世界に名高いアウトルック社や、レデイスホームジヨーナル社などを訪問して見て、其の編輯局に、二人或は三人といふ極めて僅かな人が居るのみに驚いたと申しますが、日本の雜誌社、新聞社等も、多きは十倍も餘計な人が居ると、或る專門家が申されました。之れは設備にも、働らく人の心掛けにも、改善の餘地が充分にある所でありませう。

□約束を守る習慣

一つ日本の社會の仕事を遲延させる大きな原因と思はれるのは違約の多いことであります。かの森村男爵が早くから日本の實業界に起つて今日の清い富を築き上げられる迄には、どれほど周圍の不正直に苦しまれた事でありましたでせう。今日其の邸宅に建てられた理想の幼稚園小學校の玄關には、翁の自筆の「正直」といふ文字と、アプラハム、リンコルンの肖像が揭げられてあるのは、第二の國民に、第一に正直を植え付けたいと思はれる其のお心が、尤の事と察しがつきます。もし約束が遺憾なく守られたら、今日の勞力は確かに半ば以上省けませう。これ等は敢へて何の手數を經なくとも今日只今からでも其の心一つを改めれば出來る事ですから互に實行を急ぎたいものであります。

時事週評

□二婦人會の弔慰會　愛國婦人會が筑波艦遭難者の遺族に五百圓を、飛行殉難者山村中尉の遺族に二十圓を送つて懇ろなる弔慰を表し、また將校婦人會が東北地方の鐵道顛覆の爲入營せんとする壯丁の殉難せる者の遺族に、有志の醵金七百圓を送られたのは、何れも美くしい企てゝありました。

此の上は支部に於て、遺族が末永く生活に差支へないやうな生活の道を開いてやる事が、何よりの慈善でありませう。大阪愛國婦人會支部の戰死者の遺族の爲めに設けられて居る授產場は、最も好い模範で、同授產場の如きは、經營宜しきを得て、遺族に生活の道を與へて居る上に着々として會の基本金も積まれて行く有樣であると申します。

□米國の婦人運動　遙々米國より寄稿された、鈴木伊都子女史の報道は、めざましい米國婦人の活動振りを遺憾なく見せて下さいます。婦人が一朝自覺して起ち、正義人道の爲めに大に戰はんとするは世界に新らしい曙光の輝き初めたやうな、心地よさを覺えます。實際今日の儘に推し進んで行けば、世は腐爛するのみであります。今や婦人が起つて人類の精神的の革命を促す時期は迫つて居ります。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

教育ある主婦へ（中）

良人を感化する力

高島平三郎

□理窟で治まらぬ家庭

教育ある主婦は、兎角自己の教育あることを内心の誇として、夫が自己を敬重せんことを要求する。然らざるも動もすれば些細の事にも理窟を列べ、角張り、禮儀ばつて、夫をして窮屈の感を懐かしめることがある。是等も或る程度までは正當の事であつて、毫も咎む可きことでは無い。併しそれが多くの場合に度に過ぎて、夫をして厭嫌の情、忌憚の念を起さしめる基となる。家庭は情の榮える所である。理窟では到底圓滿に治まるものではない。

□貞女夫に嫌はる

世間には學問あり、品格あり、禮儀正しく、而かも器量好しであるに拘はらず、夫に嫌ひ厭はれ、夫は斯る美にして賢なる妻を持ちながら、家を外にして他に賤しき婦人などを圍ひ置く者さへある。外觀上誰しも夫を咎めぬ者は無い。併しよく〳〵その内面生活に立ち入れば、必ずしも夫をのみ咎める事の酷なる理由が存する場合が多い。

□温い情の要求

男は外に出で、毎に理窟の言ひ合ひをして居るのである。又多くは朝から晩まで「左樣」「然らば」の嚴格なる交渉で仕事に疲れて歸つて來るのである。もう理窟にも禮式にも飽いで居るのである。家に歸るのは一切の鎧を脱却し、赤裸々の人となり、温い情の中に入つて安心して話し、くつろいで食し、笑ひさゞめいて一切を愛する人に托して、一日の勞を慰する爲めである。然るに家に歸りても、主婦がどこ迄も生眞面目で、笑顏一つせず、何かにつけて理窟を持ち出されては、如何に禮儀を以て遇せられても、到底打ち解けて一切の自我をさらけ出して、妻と融合することは出來ぬ。教育ある夫が教育ある女を嫌ひ、却つて教育乏しき從順の妻を求めるのは、強ち女を奴隷視する自我中心の曲事とのみ見る事は出來ぬ。教育ある主婦はこの人心の微妙に注意せねばならぬ。

□柔よく剛を制す

夫に過失ある時、理窟を以て責むるのは、多くの場合に効果が無い。それよりも自己の忍耐、自己の品性に由つて根柢から夫の精神の改造せられるやうに努めねばならぬ。これが主婦として最も困難な點であるが、若しかゝる場合に成効した者は、實に女としての名譽である。「柔よく剛を制す」といふ語は、主婦が夫を己に從はしめる場合に最もよく適合する格言である。つまり理窟でなく、情を以て制するのである。眞正面から理窟で責められるより、同情ある優しき處置が却つて身を斬られるやうにつらく有効である場合が多い。

□三年の忍耐

曾て高き教育を受けた男女同士が夫婦となり、二年が程は琴瑟相和して人も羨む程で、二人の可愛き子供さへ出來た。然るに夫が實業界に入り、遊び好きの朋友に化せられてから、次第々々に内を外にして遊ぶやうになり、夜も屢々家に歸らぬ事があつた。その妻も世の常の教育

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある主婦のなす如くに、始めは夫の前に面を正して諫言した。夫は何を生意氣なといふ調子で却つて結果がよく無い。

併しこの婦人は思慮ある人で、且つ熱心なるクリスチアンであつた爲めに、夫の非行を誰にも口外せず、且つ夫がつれ無くし、時には打擲する事さへあつても決して悲觀せず、又怨嗟もせず、自分の力では到底夫を改心せしめる事は出來ぬ、此の上は神の御力を借りる外は無いと決心した。

それからは絶對に夫のいふ事に從ひ、何事も背かなんだ。夜十二時一時頃に歸つて來ても、チャンと酒の支度して、火鉢には火が埋められ、鐵瓶の湯が沸いて居た。夫は醉眼朦朧醉歩蹣跚として、ロレツも侫しく「酒」「酒」などいひながら友人を伴ひ歸る事もあつた。斯る場合にもいやな顏は微塵も見せず、「ハイ唯今」と嬉しさうに返事して少しも悲しみ怨む樣子が見えぬ。夫はわざと「どうかして怒らしてやらう、泣かせてやらう。否ならば自ら暇を乞うて出て往くやうにしてやらう」とさまざまに難題を持ち掛け、時には足蹴にすることさへあつた。殊に或る夜夫は友人に「おれの嬶ほど不思議な奴は無い。いくら遲く歸つても、女を連れて歸つても怒つた事もなければ、泣いた事も無い」というた。友人は之を聞いて「それは貴樣が嬶のろけを言うのである。女にそのやうな事のある筈は無い」というて否定した。そこでそれならこれから一緒に歸つて見やうといふ事になり、午前二時頃二人は自動車で元氣よく家に歸つて來た。主婦はチャンと帶を締めて眠むさうな顏もせず、笑顏を以て迎へた。併し怒らぬ所を見せねばならぬので、夫は殊更烈しい難題を持ち掛け、打つたり蹴つたりするが妻は少しも泣きもせねば怒りもせぬ。唯々自分の足らぬ事を詫びて、甲斐々々しく酒の支度などした。友人はさん〳〵酒を飲み「不思議々々々」といひつゝ歸つた。

夫は夜が明けてから妻を呼び付け「貴樣はわしがどうぞして怒らせてやらう、泣かせてやらうと思うてひどくしても、平氣で居るが一體どういふ積りか」というて問うた。さうしたら妻は初めて夫の前に泣き伏し「私はあなたがそれを問うて下さる事を三年の間辛抱して待つて居ました。私は一切を神さまにお任して、あなたのお心の元の樣になるのを祈つて居りました。今日あなたの問うて下さつたのは神さまのお導きです」といふて、更に烈しくしやくり上けた。

さすがの夫も夢から覺めたやうに「おれが惡かつた、どうぞ堪忍してくれ」と妻の前に泣いて、手を突いた。「ア、勿體ない。あなたが元のあなたにさへなつて下されば、これ程嬉しい事はございません」と妻は一層烈しく泣いた。

それから夫は酒器一切を打ち毀ち、全く更生の人となつて、妻にも二人の子供にもやさしき夫、情深き父となつた。これが女の眞の勝利である。

四　□無限の力の源泉

か弱き婦人にどうして前述の如き偉大な力が出たか、到底自分一人でかやうな力の出るものでは無い。たゞ絶對的人格に信頼する心からのみこの力は生ずる。敎育ある主婦にして朋友相會するか、或は親戚故舊などに逢へば、泣いて姑や夫の無慈悲不理解を訴へ、自己の勞苦に同情を求める者がある。これは根柢から誤つて居る。自己の夫とし母とした以上は、成る可くその非を他人に知らしめずに之を矯救する道を講ぜねばならぬ。敎育ある者ならば思慮も無けねばならぬ。いくら自分が苦しいからというて、我が半身たる夫の非を口外すべきでは無い。道德に、知識の必要な事人格に理知の缺可らざるは之でも知れる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花々しき

米國の婦人運動（一）

參政權と禁酒運動の爲

在米國 鈴木伊都子

この筆者は編者とは未知の方でありますが、米國のめざましき婦人の運動振りを見るが如く記して、遙々寄稿せらるゝに就ては、常に婦人問題につき心を潜めらるゝ方であらうと、二回に亘つて此處に掲ぐることに致しました。紙面の都合で大分割愛した處もあります。

□大統領改選と婦人運動

今回の米國大統領改選は、三十年來見ざる必死の競爭と云はれました丈けに、選擧後旬日餘を經て、加州の結果が公表され、甫めて兜を脫いだヒューズ氏がウヰルソン氏に宛て丶、當選祝電を發する迄は、どんな變化が起らぬものでも無いと、何人の胸にも輕い疑惑が殘つて居たのでした。暴風雨は去りました。今こそ選擧の事實を前にして、冷靜な解剖を加へることの出來る日が參りました。けれども選擧の大勢と其の結末に就ては、遺憾なく通信されて居ることゝ思ひますから、私は一時は凄じかつた婦人參政權者の爲したところ、それによつて生み出された結果、及び主として婦人の力に俟つもの多かつた禁酒運動等特に故國の姉妹方にお知らせしたいと思ふのでございます。

□ウヰルソン氏の演說

十二州に跨がり、四百萬の有權者を有つて居ると誇稱した我が米國婦人黨の大統領候補者豫選に際して爲した猛烈な運動を始めて以來、十一月七日の選擧期日迄五ケ月の間、民主共和の兩黨は、對婦人運動を開始しました。九月上旬アトランティク市に開かれた米國婦人參政權協會大會には、大統領ウヰルソン氏出席して、婦人參政權問題に就いて、一場の演說を試みました。ウヰルソン氏は個人としては早くから有力な婦人の味方であり、婦人參政の可否を一般投票に問はれた際、贊成の一票を自ら先づ投じられたことはよく世の知るところでありますが、然しながら任を大統領の榮職に得ましては、州權の自由を中央政府が侵すこと能はずとの年來の信條、牢として動かし得ぬ處から、其の日の演說も、ヒューズ氏が與へた夫れの如く、婦人政客の求むる滿足を與へませんでした。

□婦人の敵なりと

斯くて婦人黨の猛烈な反對運動は起されました。大陸を縱橫無盡に縫ふて居る鐵道網に依つて、婦人黨特別列車は仕立てられ、隨所に「ウヰルソン氏は婦人の敵なり、彼を倒してヒューズ氏を出せ、之れ我れ等婦人有權者の爲すべき天職なり」と云ふやうな演說が、男子政客を後へに瞠若たらしめる雄辯によつて傳へられ、反響は雲の如く涌いたのでした。尤も此處にお斷りをして置かなければならぬ事は、全米國の婦人が打つて一丸となつてヒューズ氏に左擔したのではないのであります。恐らくウヰルソン氏程婦人に敬愛され、崇拜の的とせられた政客はありますまい。ウヰルソン氏は温良圓滿な性格を持ち、美しい家庭の主人であります。從つてウヰルソン派婦人政客の團體も至る所に出來、多くの婦人黨に對して反抗運動を試みた事も、亦頗る熾んなものがありましたが、斯うした果ては多數の豫想を裏切る意外の結果を齎らせたのでした。即ち婦人黨の熱誠に助力したヒューズ氏は敗れて、小數の婦人が走つたに過ぎぬウヰルソン氏に月桂冠が再び收められたのでした。

□一名の婦人代議士

それは兎も角、婦人に參政權

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を與ふるの可否は、愈々一大潮流を為して、米國の政治的思想界を流るゝ事になりました。即ち今時大統領改選と同時に併せて行はれました南ダゴタ、西ヴアジニャの二州に於ける一般投票には、本問題が持ち出されました。尤も二州共に敗れましたが、軈てこれ等の州にも行はるゝは期して待つべきものがあります。殊にモンタナ州は一九一四年に婦人參政權を與へたのみであつて、最も若き歴史を持つて居るにも拘らず、今日は全州民主黨が收むる處となつた中に超然として共和黨から下院へ一名の婦人議員を送りました。之れは實に米國に於ける婦人代議士の嚆矢であつて、來るべき第六十五議會には萬緑叢中紅一點の異彩を添へることゝ思ひます新選婦人議員名をミス、ジャネット、ランキンと呼ばれ、職業は辯護士、同州男子政客が常に舌を巻いて居る其の道の優者ださうです。

口米國政界の新現象

婦人に參政權を與へ、婦人を議政壇上に送ると云ふことは、最近米國政界の著明なる現象の一つであると云ふことは、何人も疑念を挿さまぬところであります。否これは啻に米國のみの現象ではなく、歐米を通じて立憲政治の國を以て任ずる限りは多少なりとも其の餘波に浴せぬものはありません。大戰後に於て英國が婦人參政權を認むべきことは、疑ふ餘地もありません果して然らば、婦人は議政壇上に送られて何を為すべきか、固り身は婦人たりといふとも、國民の選良である限り、國家の大局を見て事を為すべきは言を俟たぬ處であります。さりながら婦人であることは、其處に何等か特別の任務を帶びてゐるないでせうか。

今回の大統領改選には、上下兩院議員の改選が行はれたと同時に、民衆より或る種の問題に就て意見を徴する一般投票も亦各州に於て行はれました。さうして其の投票の結果は婦人有權者の特に為す有るところを示したのであります。即ち一般投票に現れた禁酒案の成績は、婦人の參政權と兩々相並行して、進み行く事實を示して居る事であります、次回には禁酒運動の状況を述べて見たいと存じます。

六

倹約物語（九）

落花生の殻

近藤浩

湯屋が此の税金に夜間までも値上げになつたので、三錢の時でさへ、一週に一度でしてから、今度はもう、一ケ月に二度乃至三度位しか入浴することが出來ませんと、風呂屋の煙突を見上げては倹約主義の奥樣方心密かに恨みを吞んで居られます。

ところがこゝに倹約主義の夫人がありまして落花生の殻で毎朝一釜宛湯を沸かしそれで身體中を綺麗薩張りと洗滌されますが、此のお陰で實はどんなに湯錢が値上げにならうとも全く知らぬ顔で、過して居られます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名物教授(二)

マクベスを講ずる

三谷民子女史

女子學院の五分間

▲三谷民子女史――夫れは矢島楫子女史の去られた後の女子學院に於ける唯一人の主權者である。その洋行がへりのチャキ〳〵として、また、才氣縱橫人を恍惚たらしむる雄辯家として、また、堅實なる教育家、宗教家として、共に、多くの人が知つてゐる所であらう。某日のおひる前、私はそつと女史の譯讀を聞きにいつた。

▲教室はグル〳〵と幾つも階段を昇つていつた所の三階の一角である。ムレ〳〵と温かくストーブが燃えてゐた。高等科の三年生達であるとか、先生は六七人の學生と共に、如何にも親しさうに大きなテーブルを圍んで小形な英書をお開きなすつてゐた。みんなの顏は、醉つたやうに赧らんでゐる。机の上には英語の聖書や、そのほかの宗教書らしいものが幾つも散ばつてゐた。

▲一人の女學生が、美しい發音で、滑かにある一項をよみ終ると、女史は直ちに夫れを引きとつて飜譯をおはじめなさるのであつた『……私の乳をかくしてくれ。頭の頂邊から足の爪先きまで、殘忍な心で充たしてくれ。……後悔の入口を塞いでくれ。暗黑の夜よ、來つて眼に見えぬ惡靈でつゝんでくれ……。』などゝそれは沙翁のマクベスの一節マクベス夫人の斷りの言葉であつた。女史は「この學期はセーキスピヤを說くことにしました」と笑つて居られる。沙翁の物なら、早稻田大學の坪内博士に限ると云ふが、女史のも手振り身振りの仕草はなくとも、滔々と流れ出る言葉は人を魅するに充分である。

三谷民子女史と女子學院の校庭

▲さ、私の眼の前には何時か上山草人達の手によつて帝劇で演じられたマクベスの舞臺面が展開された。そして如何にも殘虐な事を進んで助けさうに妖艶な面影のたゞよつた浦路のマクベス夫人が、夫マクベスを勵まして王を弑逆し來つた後、さすがに心の苦悶に耐え得ず、遂に夢遊病にかゝつて眞暗な夜、ウツラ〳〵さしぞろもざろな姿で寢室からまよひ出ろあの無氣味な場面が浮んだ。私は何事にも遂ひに徹し得ないらしい女の上を儚なく、味氣なく思はずにはゐられなかつた。

▲五分間ばかりでもう終業のベルの鳴る時が來た。私は僅かに五分間ばかり傍聽したのである――女史は見上げた所四十二三の地味な風采をした、然し賑々しい温か味を持つた婦人である。大島の着物の衿元から、濃鼠色の絞りの半衿が窺いてゐた。學校は下二番町の高臺、いつもピヤノの音が豊に漂つてゐる。校舍はほんの一角におつけそへのやうにそつと立つてゐる、庭園と寄宿舍との廣い一種特色のある建物である。(民子)

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

重態にある 野口小蘋女史

「十一屋」のをばさんの昔なつかしき物語

□奇麗な彩色畫

お客間の襖一面に張られてある竹や牡丹の奇麗な彩色畫の前に、小さい身體をしよんぼりと据えて、時々頭を右に曲げたり左に振つたりしながら、さも不思議さうに見入つて居る私の後から母や祖母が『これは十一屋のをばさんがお描きになつたのですよ』と筆者の名を敎へて呉れた事は一度や二度ではありませんでした。『十一屋のをばさんてどんな方だらう』一度も其の人に會つた事の無い私はどうかしてかいま見なりともと、幾度か其の店の前に立つて凝と中の様子を伺つたものですが、其の人らしい影をさへ見る事は出來ませんでした。

□目下重態に陷る

『私も大きくなつたらば十一屋のをばさんのやうに』などゝよく云つた事を思ひ出す毎に云ひ知れない懐しさを私に持たせて呉れます。その「をばさん」こそ、今の帝室技藝員野口小蘋女史であつたのでございます。女流畫家として一世に名を謳はれる小蘋野口親子女史が、今重い病床に呻吟せられ、然も昨今は重態にて最早聽覺さへも殆どないやうに、半ば昏睡の狀態に陷られ、國手は其の容體を氣遣れて居ると云ふは、誠に心もとない事であります。

□女人禁制の酒舗

甲府の停車場に降りて『十一屋』と聞けば誰知らぬ者もない豪家の其の家は、町の目貫の場所と云はれて居る柳町通りに、殊更ら目立つ程でもないが、どちらかと云へば昔風の極く地味な店構へに短かい紺の暖簾を掛けて、何時も角帯に前掛の番頭さんが薄暗い帳場に坐つて、算呂盤を彈いて居る外は、小僧や番頭達が醤油樽や菰冠りの酒樽を彼處此處に持ち運んで居るばかりで、曾て女の人の顔を見た事が無いと云はれて居た女人禁制の酒舗でありました。

□良人野口氏と相知る

こゝの當主野口忠藏氏(今の正章氏)は幼ない時分から畫道を好まれた處から當時陰れもなかつた上方の日根對山翁の門を訪れました。丁度其の時小蘋女史も同じ門下にあつて餘念無く彩管を揮つて居られました。其の後幾度かの春、秋は過ぎて、正章氏は十一屋の店を繼ぐ爲めに心ならずも歸國いたしました。其の時分の甲州は斯界の識者も多く、文人墨客の杖を引くものの絶え間ない程でありました處から、女史も歴遊を思ひ立たれて一と日野口氏を訪れたのでした。遠來の珍客殊には同じ趣味の舊友を氏はどんなにか懐かしく迎へた事でせう。然し家禁を破ぶつて女史を其の家に招じ入れる事は出來ませんでした。

□同じ趣味を慕ふて

程なく女史は氏の斡旋に依つて氏と親交ある同市の中田定一郎氏方に起居される事となりました。中田氏の夫人は又女としては珍らしい程の好事家で女史の來遊を此の上なく喜ばれ、心置きない交を結ばれた爲め、遠い郷國江州にあつて、書生や近隣の人々から『お嬢さま〳〵』と侍づかれた温かい父君の家さへも忘れたやうに暫らく足を止

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

められました。未三十路には間のあらう若い女史が土地の人達から天才家として敬せられるやうになつたのはそれから程ない時でした。現時の代議士大木喬明氏が其の並ならぬ彩筆を賞で、専心女史を補けたのも此の頃の事でした。

□十一屋に入る

其後媒介する人があつて、年三十にしてかの十一屋の店主にして同じ趣味を辿る野口正章氏に嫁がれたのでした。然し女史の彩筆は一日として紙に絹に染められなかつた事はありませんでした。今でも時々盃や茶碗等に女史の鮮かな運筆を見る事がございますが、此の時分女史の描れたものであると申します。幾程もなく一女を出産して家庭に一入の春が増しました。この一女は今小蕙女史と申されて、母君の指導に南繪をよくせられて居ります。野口家は其の後或る事情の爲め家督を令弟に譲られて、一家を擧げて上京せられました。

□譽れの榮冠

こは家に取ては喜しからざる物であつたかも知れませんが、女史にとつては實に幸運の萠芽でありました。女史の非凡の天才を誰が目をつぶつて何時迄見ずに居られませう。忽ち斯界に認められ、其の妙技と謙遜な性格とは優に當時の大家を凌ぐ人望を贏ち得て女流の唯一人の帝室技藝員に擧げられ、南畫に於ては女流はもとより男子さへも其右に出づるものは無いと迄の賞讃の詞を惜まれないやうになりました。然し日頃から繊弱な女史は遂に重い枕に付かれました。七十二歳と雖、一代の藝術家たる女史にはまだ限りなき未來を抱いて居られます。願ふは其妙技を惜しんで、天が女史の生命の上に幸せんことを。（淸子）

野口小蘋女史と其の作の一

（秋山暮靄）

噂

▲中條百合子さんのお宅に、もと居た書生が、或る日中央公論を携へて來て、百合子さんのお母様に向ひ「奥様、お宅のお孃様と同名同姓の方が、どうも偉い作をなさいましたよ」と云つて、頻りにその作を稱へる。▲其の賞讃を聞き終られた母君は「それは宅の孃です」と申されると、書生さんは奥様が戯談をお仰しやると計り信じなかつたと申します。▲これは百合子孃の處女作「貧しき人々の群れ」が公にされた時のお話ですが、實際まだ肩上げの深い元祿袖を着た、並よりも小柄に子供びて居る百合子孃が、あの酸いも甘いも嚙み分けたやうな作をしやうとは、思ひ掛けぬ所です。▲東京高商教授のガンドレッド氏の息女エミーさん（九歳）は、過るクリスマスに母君への贈物として手貼りの小箱に大枚四錢を入れて、うや〳〵しく差上げました。明る日エミーさんは眞面目に「母さん銀行の勘定がよくなりましたか」と申されたさうです。

九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

毛織物の見分け方

織物の研究（一）

□何んな見かけがよいか

一と口に毛織物と云はれて居るが、其の種類は隨分澤山あつて、一々委しく述べる事は出來ません故、今は普通家庭に最も多く用ひられて居るものに就いて二三お話するに止めて置きます。

凡て毛織物は上光のするやうな光澤を持つて居るのは、毛質が惡く、耐久力もありません。又嫌に厚いぼた〳〵するやうなのも、綿が澤山混つて居るもので良くありません。(極上等のもので厚い品もありますが)成るだけ薄手で、柔かい中に、心のあるやうな感のするしやりつとする品がいゝのです。

□セル地を撰ぶ時

セル等は現在非常に用ひられて居りますが、今日、本セルと云はれて居るものも皆多少の木綿が混つて居ります。昔の綿セルも同じく木綿が入つて居りますが、これは毛と木綿とが原型のまゝ組織られて居ります爲、容易に見分ける事が出來たのです。然し今日の本セルは其の纎維の中に木綿を混ぜるので素人には一寸見た丈では分り兼ねる事があります。其の時は糸を解いて撚を戻し、輕く纎維を引つ張つて見るのです。毛ばかりならば、纎維は長く續いて居ります。或は火に燃しますと灰丸が固りますが、綿が這入つて居ると伸びて落ちて終ひます。其の他セル地は目の細いほど品質がいゝとされて居ります。近頃内地産のセルにはよくギチ〳〵したやうな感のするものがあります。これは織り場で仕上の時に用ひた石鹸がよく洗ひ落されずに殘つて居る爲めであつてよくありません。

□フラン子ルは

フラン子ルはどんなものでも凡て綿が這入つて居ります。縦はセルと同様の糸を用ひ、横に綿と毛の纎維を混ぜたもので織つてあるので、其の割合等も見分け兼ねますが、紙の如な手觸りのするものは非常に木綿が多いのです。メリヤス類も多く木綿か混つて居ります。

□毛布の類は

毛布も縦横ともに木綿が這入つて居りますが。毛の多いものは同じ白色でも幾分黄ばみを持つた半透明の色をして居ます。町等で賣つて居るいやに白い色をしたのは、木綿が澤山混つて居るのですから注意しなければなりません。一體毛としては飽く迄も純白にならなければならないので、黄ばみのあるのは缺點ですが、凡て毛は硫黄氣があつて、此れを絶對に取る事は質を惡くする憂があります。そこで除り殘されて居る硫黄の爲めに、いくらかの黄ばみをもつやうになるのです。然しフラン子ル等にはわざ〳〵附色をしたのもあるやうです。

（東京高等工業學校教授須田豐作氏談）

「手藝」

本校々長大妻先生が多年の研鑽と經驗とに基かれ御執筆なされました。お待ち兼れの「手藝」がいよ〳〵發行せられました。袋物、摘細工、撚紐工、編物、儀式用折紙并水引結方の五科目に渡り三百餘種の圖解を以て懇切に說明せられたものでございます。本校卒業生並に修了者及本校直接申込者は特別の待遇をいたします。

（内容見本郵劵二錢）

東京市九段靖國神社横

私立 大妻技藝學校幹事

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

北方の産物を輸入せよ

斬雲生

□鮭のはらゝ子

寒い海から捕れる魚は、世界共通に一定して居る樣です。鮭、鱒、鱈、鯡、鰰、カスベなど其の主たる物です。此内で、東京人に最も好く知られて居るのは鮭ですが、併し、其は鹽鮭であつて、生鮭は餘り知られません。東京へ來る生鮭は利根川から捕るとか言ひます。味は北の海から捕れる物に比して、大分落ちる樣です。生鮭の子、即ち「はらゝ子」といふのは、東京人に一向に知られない樣子で、料理法も知らぬ樣です。私の郷里青森地方では、此のはらゝ子は、珍味として隨分高價なのです。鹽にしたものは筋子です、鹽と生では別物の樣な差異です。北海道では鹽鮭の事を鹽引きと言ふのです。處で、東京では鹽鮭を多分に食用しますが、鹽鮭も寒中氷らしたのは、甚だ結構なもので、東北地方では、夏期中、此の氷つた鹽鮭を澤山食ひます。之は干魚と呼び、一旦氷つたのだから、堅くなつて搗いてから三日目あたりの餅でも切る樣にスウ／＼と切れるのです。之は煮燒きせず、小さい短冊形に切つて、其儘食べるから、手輕です。之はまだ東京の市中には見えません。鹽鮭を食ふなら、此の氷らした干魚を食はなくては嘘です、追々澤山東京に輸入させたいものです。

□鯡の子の美味

次に鯡といふ魚は、一寸さんまに似た味ですが、モツと／＼美味いものです。形はこのしろにも多少似て居ます。之は身欠鯡といふのになつて東京に來ます。身欠鯡は見かけが悪く、不潔物に見えるから、東京では中以上の家庭には入らない樣ですが、上手に料理して食ふと、美味みが多く滋養分も多いものです。能く水にひやかして、洗つて、一寸位に切り、水から煮るのです。午蒡と一所にゆつくり煮で、甘煮にすると、暑中でも大分の日數間貯藏されます。之が生で食ふと大變うまいもので、我々東北人は、東京に來ては、生鯡は食へぬから、さんまを食つて、せめてもの心やりにする位です。又鯡の子は數の子といふ堅い奴で、此の數の子ばかりは、どんなにしても堅いものです。併し生の子は脆く柔かく恐らく魚の子の中で一番うまいものです。之は春三四月に捕れるので、出盛りになると、東北では各戸共甚だしく多量に買入れ、押壽しを漬けたり、鹽漬けにしたりして保存もします。數の子を鰰の子と同じものに心得て居る人もありますが、大違ひです。

□鰰は腐る程捕れる

鰰といふのは、四寸位の細長い魚で、一寸類のないものです之は、冬に入つて間もなく捕れます。脂肪が少く、淡泊なもので、幾ら食つても飽かないので煮燒きして、頭の方から骨を拔くと、スウと拔けるので、小骨も邪間にならず、能く鰰を五十食つたの、八十食つたのといふ話があります、秋田などでは、餘り餘計に捕れて、汽車の運送も間に合はず、積んだ儘腐敗したなど云ふ話もあります。鰰の腐れ壽しといふのは、東北人の大好物です。其の子は粒の大きいもので、是又大變風味の好いものです。夫を干したのはぶり子と言つて甚だ堅いものです。數の子とは、全然異るものです。之は追々東京へ輸送するやうになつたら、東京人の食膳も一珍味を増す事でせう。

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

臺所化學の 生む經濟品

主婦の手帳に

立教女學校教諭 村松石子

□經濟な出汁

出汁は鰹節を用ひると水一升に就いて鰹節四十匁を要しますこれを價格に積れば騰貴以前の相場で鰹節十匁が約七錢今日は殆ど倍額に騰貴して居ます。然るに味の素を用ひると、同じ一升の出汁を取るに鰹節十匁と味の素を小匙一杯で、鰹節ばかりと殆ど同じ味の出汁が作れます味の素は約五錢しかかゝりませんから、合計十二錢で上り、經濟上からも手數の上からも利益です。然し滋養分が少なくては面白くありませんが、鰹節も餘り多くの滋養分が包まれて居るのでもなく、主として食慾を增させるのにありますから、化學作用によつて作られた味の素でも大差ない筈であります。少しづゝ混へて用ふのがいゝと思ひます。

□揚油の作り方

普通揚油に用ひられて居るヘットは豚の脂粕を集めてこれに水を加へたのであつて、ヘット百匁は脂七十匁と水三十匁の割合になつて居ります。要するに世間では水の三十匁分もヘットとしての代價を拂つて居るのでありますから、不經濟の事は申す迄も無く、不純のものも混つて居ないとも限りません故、成べくお宅でお作りになる事をおすゝめ致します。

それには牛のケンネ油を肉挽で挽き、フライパンに入れて煮ます。全然り脂が溶けますと、脂粕が上に浮きますから細かい目の灰ふるひでよく取つて瓶に入れて置きます。

これは胡麻油と半々に混ぜて用ひます。初め同量の胡麻油を物が揚る位ゐに一旦沸騰てゝ、次にヘットを入れます。

□脂を新らしくするには

其の外豚の腹脂を細かく切つて、前と同樣の方法で作つた脂は胡麻油を用ひなくてもよろしい。これは使用した皮に篩にかけて瓶の中に入れて置きます。又脂が汚れた時には脂の三分の一の水を入れて溶し篩で漉します。少し置くと比重の關係で水は沈み、脂は全部上に浮みますから、そつと脂丈を瓶に取ります。

□臺所用の石鹸製法

料理に用ひられない脂は、臺所用の石鹸に作るのです。即ち脂百分に對し、加性曹達溶液（曹達一分、水五分の割合）百二十分の割合にして、先づ脂をよく溶して置き、これに溶液を入れ

十二

家庭お化粧 (19)

▼神聖な家庭の象徴▲

▼現代要求の化粧法▲

＝自分の皮膚を見よ＝

＝美しい皮膚にする＝

自分の皮膚を見分けますのは專門家でなければ、正確に細緻に知ることは出來ますまいが、ただ大體に於て分つて居れば宜しいのでありますから、自分の皮膚は荒れるか、又は濕り勝ちに脂肪の分泌が多い脂肪質であるかを知れば十分であります。

それは何人の皮膚でも、一樣の狀態性質を有つて居るものではありません、常にカサ〳〵として乾燥性を有した皮膚もありますれば、常に汗や脂肪で濕つて居るやうな皮膚もあります、又、濕つて脂肪質のやうで居ながら、實は荒れ性の乾燥性に屬する人もありますが、要するに皮膚は荒れ性か脂肪質かの二樣を以て論ずる外はないのであり

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て暫らく煮ると、水油のやうになります。其の時試験管用のものに少しそれを取つて、一寸水を加へて振つて見て泡立てば、石鹸になつた験ですから、火から下して空罐の中に流し入れて固めます。石鹸にもならない脂粕は、新聞紙に包んで、植木の根に埋けますと、隨分いゝ肥料になります。

＊　＊　＊

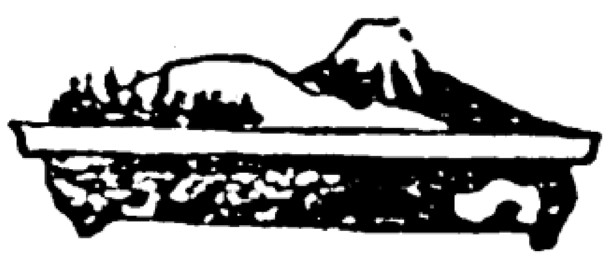
以下は私の經驗でなく秋穂氏のお說ですが、特に有益と思つたもの二三を擧げて見ます。

口重寶な八方汁

これは一度作つて置きますと馴れない下女などに煮物をさせる時でも、お味などを一々見てやる手間が省けます。即ち鰹節十匁に水二合、酒或は味淋五勺、醤油五勺、砂糖十匁、味の素小匙一杯の割で普通のお汁を作つて置いて、お魚でも、野菜でも肉でも、適宜にこれを入れて煮るのです。寒い時には幾日ももちますから、少し澤山作つて置きますと、急のお客様や用事の多い家庭には至極便利です。

口上手に御飯を炊く法

御飯を炊きますには、三時間程前に米を洗つて水に浸けて置き、米一升に就て水一升二合を沸騰させ、米の水氣をよく除つて其の中に入れ、米をならして中央に杓子を入れ、ぐるりと一度攪き廻して眞中を少し窪ませて置きます。凡て火は眞中が強いものですから、窪ませて置いて丁度いゝ位ゐに平になりますこれを五分間煮て二十分間むらして置くとはつつりとした御飯になります。



寒い日のお惣菜

一月の料理(三)

和田むめお

口牛肉味噌やき（大切牛肉、甘味噌、酒、醤油）甘味噌を少量の酒にてとき、醤油を加へて、三分厚み二寸角位の大切の牛肉を、半日ばかりこれにつけておいてから、強火にて燒く。但し燒く時八分通り燒きに止めておくのです。

口おぼろ豆腐茶碗蒸（魚肉、豆腐、椎茸、三葉、玉子）豆腐一丁をよく擂り三ヶの玉子を擂り混ぜて冷めた煮出汁二合と醤油二勺を混ぜておく。白味の魚肉を一人前に一切のつもりで切つて、鹽湯にてさつと湯がき、微温湯につけておいた椎茸を茹で、繊切りにして下煮をしたものと湯に通した三葉とを椀にもりて、玉子豆腐の汁を八分目注ぎ入れてむします。

口ちり鍋（三つ葉、白滝、ちくわ、くわゐ、牛肉、魚肉、銀杏、ちくわ麩）三つ葉はよく洗つて一寸五分程の長さに切り、白滝は水洗してざつと茹で、ちくわは二分厚さに切つておく。鳥肉、魚肉は適宜に切つておいて、ちくわ麩は一分位に切る以上の材料を平たい鍋に配合よく並べ入れて、わりしだしをつぎ入れ、火にかけて煮乍ら食べます。

わりしだしの作り方は、三勺の味淋を煮たてゝ酒氣を抜き、だし一合二勺、醤油四勺を入れて一旦煮たてたものです。

まして、たゞその程度のいかんが、やがて手入の加減問題となるのであります。

されば、クラブ化粧品は、すべての皮膚狀態に應じて、必ず有効なるべく各種に特有の効驗を附與してありますので、其の用途々々に從つて、皮膚の狀態に適應して行けば、脂肪質の皮膚に荒れ性の手入をしたり、荒れ性の皮膚に脂肪質の手入をしたりする滑稽を演ずることなく、脂肪質は脂肪質のやうに、荒れ性は荒れ性のやうに、それぞれの鹽梅加減が出來て居ます。少くともクラブ化粧品は、皮膚の性質に順應して、能く美しい皮膚にして了ふことは事實でありますから、これから此のクラブ化粧品の多い種類のそれぞれに分たれてある用途に就てお話をして、皮膚の土臺から美しくして、眞の化粧―美しく見せるのでなく―美しくなる化粧の第三次の手入方を詳しく申し上げたいと思ひます。（廣告）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雪姫物語

（下）

花崖

太郎は寒さで眞蒼になつて居たが、自分では氣が附かなかつた。心が凍つて仕舞つて居るからである。彼は氷の塊を玩具にして、それを種々に並べて遊んで居た。之を理性の遊戯と云つて、太郎の目から見ると、お父さんや、お母さんや、兄弟や、姉妹やの愛よりも、乃至は人類の相互を結ぶ愛よりも、一層重大なのである。少年等は氷の塊を並べて總ゆる言葉を作るのだが、併し何うしても綴ることの出來ないのが一つある。雪姫は云つた。

「お前等は其言葉が綴れたら、それから自由の身にしてやつて、それから全世界と氷靴を一足あげる。」

生！

其六づかしい言葉と云ふのは即ち之であつた。

太郎が夢中になつて勉強して居るところへ愛子が這入つて來て、直ぐと彼の姿を認めた。認めはしたが太郎の姿は別れてから甚く變つて居た。愛子は太郎の首玉へ飛びついて叫び出した。

「太郎さん！お懷かしい太郎さん！あゝやつと見つかつた！あなたあたいが分らないの？」

けれども太郎は凝と座つたまゝ、ポカンとして瞶めて居る、寒くて體が利かないのである、そこで愛子は彼の傍に座つて熱い涙を流しつゝ泣きに泣いた。さうして此熱い涙が太郎の顏へ降り注いで、それが凍つた心の中へ浸み込むと、心が溶けて來た。それも其筈、女の涙の能く溶し得ぬものは無い。太郎は心が溶けるのを覺えると同時に泣き出した。さうして泣くこと泣くこと、近頃彼が此樣なに泣くのは珍らしい位泣くのであつた。

「愛ちやん！懷かしい愛ちやん！と太郎はワン／＼泣きながら云ふ。「今迄あなたは何處に居たの？一體此處は何處なの？何て寒いだらう！そして何と云ふ廣くて伽藍として寂しいことだらう！」

太郎は愛子に縋り付いて、二人は泣くやら、笑ふやら、躍るやら、大騷ぎの嬉しさ。すると二人が氷の上を踏んだ足跡が文字となつて、

生！

其字を形成つたのである。

二人は手に手を取つて家路を辿つた。二人がお互に目と目を見合はせると、太郎を支配して居た雪姫の力もお仕舞にな

十四

つて、太郎は早速水晶宮の冷たい榮華を忘れて仕舞つた。

あゝ幸福なるかな太郎！勿論雪姫の手から救ひ出してくれる溫情なる愛子の愛の手を持つ者は、次郎だつて、三郎だつて、四郎だつて、五郎だつて、六郎だつて、七郎だつて、皆幸福である。

人々よ、あなた方は其孰れを選みますか？雪姫の冷たい榮華と、容姿よからぬも溫情に充たされたる愛の手と…………？

子供の智慧

□お正月よりお乳

あけて四つになる まこさは、大晦日の晩、寢る時に母親から「お正月になつたら、お乳にさはらないのよ」さ云ひきかされて承知しました。元日のあけがた目のさめた「まこさ」は昨夜の約束を忘れて乳をいぢらうさして、母親に「お正月ですよ」さ云はれました。まこさは「お正 月いやだ」さいひましたが、暫くして「お正 月が歸つたら、又お乳にさはつてもいゝの」さ云ひました。起きてからは頻りに「お正 月が見えないさ」云ひました。（くげ子）

―（投書を歡迎します）―

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説「力」(四)

木内錠子

「本當に是非一度訪ねて下さいませんか、日曜といふとお友達なんかも大抵近い處の方は自宅へお歸りですし、お裁縫も出來ず、一日呆然して暮して了ふんですから――あの朝の御彌撒から晩の聖體降福祭迄居らしつて下されるでせう。四時ですもの日は永くなるし本當にお待ちして居ますよ」

　同じ様な事を二度も三度も繰返して、別れを告げて行く悦子を、門口迄送つて出たお英は、空つ風に白く乾いた往來に、東下駄の齒を寒さうに鳴して行くコートも被らない姿を、染々と見送つて立盡した。

　明日からは又神奈川の人になつて、暗い内から起きて孤兒の世話をしたり、大勢の幼兒達と手を繋いで遊戯をしたり、オルガンを彈いたり、豆細工、紙細工を教へたりする境界を頭腦の中に畫いて見て、其單調な平和な生活を悦子は果していつ迄つゞけ得るであらうかと、憐れむやうな氣が起つた。

　茶の間へ戻つて見ると、繕ひさしの足袋やら、縫物やら、一杯取散けて有つて、夕暗の迫つた勝手元には母親一人で燈火も點けず、何かゴソ〳〵夕飯の仕度をして居る氣合がした。

「どうも晩くなつて濟みませんでした」

　云ふなりお英は襷を操つて、慌たゞしく勝手へ下りて行つた流しもとの覺束ない薄暗がりの中で、明朝の仕掛をして居た母親は、耳へ入つたに違ひない娘の挨拶に對して、返事はなかつた。

　母親の性質として日常から斯うした他人行儀な口を、現在の娘から聞かされる事が何より不愉快であつた。時によると態とらしく「はい」と素氣なく應ずる口裏には、嫁か、下女ぢやあるまいし、そんなに際立つて改たまらずもの事だと云ふ不服が、手に取るやうに窺はれた。それにも係らずお英も母親に劣らぬ意地張から、母親の望むやうな分隔てのない振舞に、親子の間の禮儀をくづすことを何よりも卑しめ且恐れた。

「親子の間柄だつて義理もある作法もある」お英は頑として自分の主張を傷けられまいとした

「物を一つ遣らうと云つても、向ふをむいて濟して居る我子より、他人の子でも笑つて手を出す方が可愛い」とは、いつか母親がお英の他々しい振舞をあきたらず思つたかして、それとなく洩した不滿で有つた。

　母親の見解から云はせれば、お英は此家族の一人で、自分達夫婦と對等の位置だと叫ぶであらう。お英はお英で、自分が事實上獨立して行かれる丈の資力を備へて居たら、親子として初めて完全に三つかなへをなす條件に叶つたであらう。けれども自分にはまだ其三方の一つを守る力が缺けて居る。たとひ教育が不完全でも、體質がさのみ强壯でなくても、結構女の腕で世間の荒浪を苦もなく凌いで、三人四人の一家を支へて行く女もある。

　二十七八にもなつて、女學校も卒業させて貰つて、別段不具者でもなしに、何時迄も親の足元に纏はつて居るのが堪へられない程心苦しかつた。土方になつても、女工に通つても、金を得よう、金を充分に得て、せめて自分の身一つの埒があけたかつた。斯う思ひ立はしても、彼女の前には家といひ、名といひ親といひ、樣々な障害が目の前に群がつて、其進路を妨げた。さうかと云つて此方から望まし

十五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いと思ふ位置に、ぐん〳〵椅子を空けて、自分を招じて呉れる世間ではなかつた。

「矢張意氣地なしなのであらう彼悦子より甲斐性なしと云はれても一言もない。それ丈の事が此手で演り得ないのなら……」

お英は七輪の下をハタ〳〵煽ぎながら、胸の底で沸える樣な涙を味はつた。

「如何したら自分に定められた道へ躊躇なく進み得るであらう、いつになつたら父親、母親初め世間の手前に面目を施し得るであらう。

おゝ天に在す御父樣」

お英は炭火のカッと起つた炎が煤けた壁に、眞赤なぼかしを顯はした時、不思議な觀念がどこからともなくお英の上に訪れて、殆んど無意識に「御父樣」と繰返して口の內に呟いた。

「御父樣は何も彼も御存知で入らつしやる」孤獨の感も不安の念も、水で洗つたやうに掻消された。お英は幸福で有つた。

いくらしてもしても限りのない家內の細々した用事、洗濯、煮炊、掃除、さうした何等の價値も認め得ない雜用に葬られて居る自分は、一生こんな事で過ぎて了うのであらうか。

時とすると何も彼も嫌になつて、自分は斯樣な事をして一生は過されない、自分には仕事がある、自分の眞實に赴くべき道に一足でも急がねばならぬ。それとも天の御父は自分に斯ういふ生活をさせてお置なさるが其お思召であらうか、自分に幾らかでも或事をなし得ると認めて居るのは、傲慢自負のあやまれる觀念であらうか。

燈火を點じて膳ごしらへを了つても、午後から何處へとも云ひ置かず、飄然と出て行た父親は、歸つて來なかつた。

火鉢の傍へ落付いて、母親は小鍋のものなど暖めながら、悦子の話など二つ三つ聞き出したお英はさのみ委しくも說明しないで、

「あの方も一人娘さんだし、お家でも種々御心配でせう」とつい口に出た儘を云つて了ふと、

「向ふでもさう云つてお出でだらうよ」

母親の微笑は苦々しかつた。

お英はすぐ自分の力で一人前の働きが出來ない意氣地なしでさへなかつたら、かういふ事は耳に入れられないですむであらうと、何につけても自分の身が悲しかつた。そして斯う思ふのも決して親に對して僻み根性を出すのでも、邪推をするのでもないと、強く自分に云ひわけをつけてをいた。稍ともすれば世間の人から目を聳立てられる境界が自分斗りでなく、親達の心を暗く導く事を思ふと、云ひやうもない辛さをえ覺るのであつた。

十六

わかれ心

安中花子

思ひ入る、はたちの日まで守
り來し胸の情は君故かとも。
目の前に暫し殘りし屋根の雪
其の雪に似しわかれ心よ。
悲しみの國に果つべき花姿涙
を糧の我が思ひ草。
君に會ひし唯此幸の一つ故我
が世久しく笑みてあれとや。
哀れさは捨てられし身の恨さ
へいつか忘れて君を思へる。

新刊紹介

□**若き婦人の行くべき道**（沼田笠峰氏著）少女問題、青年女子問題の熱心なる研究家なる著者が、思想の混亂せる現代に、若き婦人の行くべき道を迷ふ者多きを嘆き、其の同情ある案內者たらんとして書かれたるものであつて、先づ第一に年若き婦人の自覺より說き起し、其の出發點より多岐多端なる世に出でゝ、意義ある生活を營ましめんやう懇切に教導してあります。女學校卒業後嫁入迄の婦人のよい伴侶者と申さればなりませぬ。（發行所麴町區平河町五丁目洛陽堂定價八十錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□歌御會始　歌御台始の御式は十八日午前十時宮中鳳凰の間に於て行はせられました。この日兩陛下には出御あらせられ、預選の光榮を擔ひたる左記七名の献詠、各皇族其の他の詠進より御歌、御製を奉頌を聞し召され、正午滯りなく御式を終らせられました。

御製

雪白きふしのたかねの
　みゆるかなかしこところ
　　の松のこすゑに

皇后宮御歌

八洲の海こえてはるけき
　やま〳〵のゆきにも
　　しるし御代の光は

選歌

従七位勳五等（石川縣）諸角友平上
あさやかにけさはみえけりみえぬ日もありし遠山雪のつもりて

香川縣三豐郡立三豐實科高等女學校教諭従七位　堀野林治上
ひうち灘なみちの末のくもはれて伊豫のたかねに雪ふれるみゆ

勳八等（三重縣）別所光治上
松あをき山はこなたにつらなりてなちのたかねそ雪ましろなる

東京府　松本みち上
秩父嶺はけさ雪しろしちさりなくあら川つつみかせさむくして

京都府　井関鐵之助上
朝日さすふしのたかねはさほけれどゆきは都のひかりなりけり

愛知縣　掛布善右衛門上
雪しろきみねこそみゆれむらさきの色にあけゆく山のかひより

岡山縣　丹下萬吾上
白妙のゆきに朝日のかけさしてならのたかれもまはゆかりけり

□兩陛下御避寒　聖上皇后兩陛下には二月三四日頃を期し葉山御用邸に行幸啓御避寒三月下旬迄御滯在遊ばさるゝ趣なるが二月十一日紀元節御祭典並に豐明殿御賜宴の爲、其前日即ち十日天皇陛下には一應宮城に還幸、十二日再行幸遊ばさるゝことに相成るべきかと承はります。

□東宮殿下に白國最高勳章　白耳義國アルバート皇帝陛下には、豫ての思召の通り同國公使ドラフアイユ伯をして、廿日午前十時半參内、本國皇帝の親書を添へてオポルト第一等勳章を捧呈しました。

□高齢華族に恩賜　畏き邊りにては高齢者優遇の御思召を以て、廿日左記八十歳及七十歳の華族に對し、御紋附銀杯並に酒肴料一封を夫々下賜の御沙汰がありました。

公爵山縣有朋、侯爵大隈重信、陸軍中將男爵村田經芳、水野直子先々々代従三位水野勝知。以上八十歳に付き御紋章附銀杯並に御酒肴料下賜（各通）

陸軍大將子爵大島久直、海軍大將男爵日高壯之丞、陸軍大將男爵土屋光春、海軍々醫總監醫學博士子爵實吉安純、陸軍中將男爵沖原光孚、同男爵伊瀨知好成、式部職御用掛伯爵大原重朝、伯爵萬里小路通房、子爵加納久宜、男爵近藤廉平、男爵水谷川忠起、内藤正潔子先代従三位内藤正[illegible]、林忠弘男先代従五位林忠崇以上七十歳につき御紋章附銀杯並に御酒肴料下賜（各通）

□東京市養育院に御下賜　皇后陛下には十八日午後一時東京市養育院長澁澤榮一男を皇后宮職にお召の上、大森大夫を經て金五百圓を收容者一同へ御下賜の有難き御諚を傳へられました。

◉議會開く　第三十八議會の議事は愈々廿三日から開始されました。これより先き廿一日に開かれた各派の大會に於て、政界の一分野自ら定まり、政友、公正の一部を除き、憲國兩派はもとより、公正會の一部は結束して開會劈頭、内閣不信任案を提出するに決定し、憲、國兩派は二十一日已に正式交渉委員を擧げ公正會の硬派も非公式に代表者を選んで居ります。兎に角今回の議會は雨になるか風になるか其の雲行きの程も氣づかはれる次第であります。

◉駐露大使出發　我駐露大使子爵内田康哉氏は、廿日朝八時政子夫人愛孃蕎満子孃同伴、愈々赴任の途に上られました。

◉英國對米回答辯明　英國は自國一箇の立場より、曩の協商國對米回答を說明する補足的文書を米國政府に送りました。即ち土耳古を歐洲より排除する件に對して、協商國の大方針とする自由主義と矛盾するとの世評あるも、今日の土耳其をして獨逸の旗下に置く時は歐洲文明に有害ある所以を力說し、次にアルサスローレン及び「恢復された伊太利」を、夫々佛國及び伊國に還附するは大に將來の平和を確かしむる所以なる事、又普魯西の軍國主義が獨逸を支配して居る間は、歐洲の平和は望み難き旨を述べ、永續的平和を保障するには、（一）現存する國際的不安の原因を出來得る限り除去若くは薄からしむる事（二）中歐同盟國民をして其政府の侵略的政策に不信任を懷くに至らしむる事（三）戰爭を豫防し或は制限する爲めの國際法規及び諸條約に何等かの國際的制裁力を伴はしむる事であると申して居ります。

◉瑞西の戰鬪準備　同國政府は來る二十四日迄に約三萬の兵力を有する陸軍三個師團の戰鬪準備を完全する由です。無論獨兵が侵入して居るのではありませんが、同國の此の動員は輕視する事の出來ないものであると思はれます。

◉米提督の訃　米國海軍の唯一の元老たりしヂユウエー提督は、此の程八十歳の高齢にして逝かれましたさうです。同提督は南北戰爭の際殊勳を樹て以來、米西戰爭に際しては麻尼剌灣上にモントホ提督の西國艦隊十一隻を擊沈し、殘餘を悉く捕獲して大勝を博し米國人の推稱を一身に集めたる名將でありますが、今其の訃に接したのは惜むべき事であります。

◉小トルストイ氏來る　物故せる世界の大文豪レオ、トルストイの嗣レオレ、トルストイ氏は夫人同伴露都ペテログラードより來遊、二十二日敦賀に上陸直ちに東上致しました。氏は今年四十七歳モスクワ大學の出身にて父翁に似た理想主義的の文學者であります。今度の來朝は第一に日本文學の研究、第二は觀光の爲めであると申します。『ショーペンの序曲』『學生時代』『飢饉』『子供の爲めに』等は氏の著述中有名なものであります。

◉市の奠都五十年記念　本年は東京遷都以來五十年目に當りますので、何かこれを記念すべき催がある筈ですが、未だ決定には間のある事と思ひます。唯奥田市長は其の記念として東京市が南へ南へと發展して行く今日、市廳を現在の地に置くのは庶務上にも不便であり、且つ手狹なるを以って、都の中心なる芝公園に敷地をトし、市廳を新築するは最も當を得た事であらうと申して居られます。

◉弔問飛行の悲慘事　横須賀海軍航空隊にては、十六日筑波弔問飛行を行ふ爲め、イの第十二號機にて山村豐雄中尉は白井三等水兵を同乘せしめ、上空二百米突の高度を保ちながら、筑波艦上に至り弔問を終っての歸途、母艦若宮丸の前面にて、着水滑走の際、突如北風に煽られて墜落、中尉は遂に慘死されました。兩陛下よりは左の通り叙勳及び御菓子料御下賜の御沙汰がありました。

海軍中尉從七位勳六等　山村豐雄
叙勳五等授双光旭日章
一金十圓　海軍中尉　山村豐雄
一金二圓　卒　一名

十七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◉百五十の英靈を葬る　筑波艦の殉難者海軍中尉谷口満一氏以下百五十一名の合同葬儀は、二十一日午後二時横須賀海軍下士卒集會所で日置導師以下四十餘名の僧侶によつて嚴かに擧行されました。此の日鎭守府長官東伏見宮殿下には伏見若宮殿下と共に臨御あらせられいと御懇なる弔辭を賜はり、尚ほ各遺族は兩殿下より御紋章入りの衣紋掛を賜はり、各靈柩を擁して郷里に向ひましたが、一般會葬者は二千人に達しました。

◉二婦人會の弔慰金　愛國婦人會では十七日の新年會席上にて協議の結果、筑波艦遭難者の將校以下下士の靈を弔ひ、且つ遺族を慰藉する爲めに金五百圓を贈る外、更に先頃の飛行殉難者山村中尉へ金二十圓弔慰金として寄贈する事に決し、十八日温情を籠めた慰問狀と共に夫々寄贈いたしました。又將校婦人會では昨冬東北地方に於て殉難せる、壯丁入營者遺族を弔慰する爲めに、會員有志者より醵金せる金七百圓を本月十六日各遺族に送達致しました。

◉報慰會　日清日露の戰役に夫君を喪はれた未亡人達より成る報慰會集會は、廿一日午前十時から九段招魂社で開かれました。今は亡き夫を祭つた嚴かな神前に、切髮姿の未亡人達が祭司の配る神酒を汲みかはしては故人の上を偲ぶのでした。會員の寄附になる薩摩琵琶、質素な茶菓等の饗應がありました。

◉ス嬢墜落　米國飛行家スチンソン孃は、十六日午後一時三十分名古屋港埋立地に於て飛行中、誤つて墜落致しましたが機體を傷けたかり破損せる外無事であつたと申します。

◉漁船顚覆の大慘事　十八日午後四時頃から房總一部に猛烈なる颶風あり爲め、折柄出漁中の漁船二十四隻、乘組員二百六名中百三十三名は激浪にさらはれて行方不明となり、其の他にも多數の難波船のある見込で、目下取調中であります。

會のいろ〳〵

▲泉會　二十日午後跡見花蹊女史のお宅で跡見女學校同窓生から成る泉會新年會が催されました。酒井伯爵夫人、志賀重昻氏夫人を始め、百餘名の卒業生が晩餐を共にして六時頃樂しく散會いたしました。▲お汁粉會　牛込河田町なる東京女子醫學專門學校にては廿四日午後三時から在校生五百餘名相集つて新年會を開き一同お汁粉の御馳走を終つて後種々の餘興に興を盡しました。▲ピアノ獨奏會　ペツオールド夫人は廿八日午後二時から上野音樂學校でピアノ獨奏會を開かれる由です。

個人消息

▲日野西薫子　既記の如く十七日村井吉兵衛氏と結婚、披露は花咲く四月を期して行はれるさうです。

▲伊東八重子（巳代治子爵夫人）　去る十日來病氣の爲め引籠中、

▲東郷多賀子（中將房太郎氏母堂）　昨年十月來の腸患にて遂に赤十字病院に逝かれました、享年七十四歲。刀自は舊丹波篠山藩の出身として青山子爵の經營せられし舊藩出身子弟教養所尙志館學生のために盡力せられた方であります、葬儀は二十五日午前十時青山齋場にて佛式に依り擧行の由です。

▲鈴木きく子（男爵母堂）　元遞信大官故鈴木大亮氏未亡人なる刀自は豫て慢性腎臟炎の處肋膜炎を併發し遂に七十二歲を以て廿日逝去されました。葬儀は廿五日自邸に於て執行される筈であります。

編輯室より

▲週間は飛ぶやうに回轉して、もう新年も一月を終る事となりました。今年のお寒さは格別と申しますが、忙しい身にはしみ〴〵と嚴冬を感ずる暇もない程でございます。▲本社の人事相談部の調査は、かれて正確公平でよいとの評判を受けて居りまして、絶えず御依頼を受けて居りますが、前週程立て續けにお申込みのあつた事は稀れでございました。これも本社の信用の擴まつて參つた爲めと、喜んで居ります。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜木曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意
▲御注文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　東京市京橋區銀座四丁目一番地　福音印刷合資會社東京支店
發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目七番地　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

高島平三郎先生序
麻生正藏先生序
沼田笠峰氏著

わかき婦人の行くべき道

四六判美本二百頁餘
價八十錢・送料八錢

若き御婦人へ

學校を卒業してから實際生活に入らうとする若い婦人が、無知の服從から目さめて、眞に生き甲斐のある生活をするには何を目標として進むべきか。この書はその道しるべとして、先づ目ざめゆく心に激勵を與へ、自我の本質とその成長とを說き、進むで愛の問題、結婚問題、實際生活の諸問題などを縱橫に論述したもの、若き婦人の希望と幸福とは、本書を一讀することによつて確かめられますしまた疑惑と不幸とに悶えてゐるものは、これを讀んで將來の光明を認めることが出來ます、速かに一讀あれ！

内容一斑

(一)めざめ▲めざめゆく心▲不安の感ずる時▲解き得ぬ疑惑▲曲り角に佇んで▲婦人に對する偏見▲新思想とその理想(二)自覺▲學校を出てから▲新らしい着物▲何處へ？▲目さめた自己▲慢心と誘惑▲誘惑され易い少女▲謙虛の心(三)自我の成長▲自己を育てる心▲戀愛と品性▲理解されない心▲理解と温情▲包まれある半面▲二つの思潮(四)愛▲萬人を愛する心▲愛し得ぬ悲哀▲みづから憐む心▲同情と弱者(五)意義ある生活▲少女とその將來▲生活上の獨立▲將來の準備▲結婚してから(其他)

山本瀧之助著

一日一善

「昨夜一讀候處いかにも平易にして讀心地よく必ず世道人心に益ある事を確信致候此著に付貴君が索思熟考苦慮被成候をつく〲御察におよび候」これは石黑男爵の著者に與へられたる書翰の一節なり、本書は盲字を以て譯せられ弘く全國盲人間にも讀まる、一日一善が小學校、中等學校青年會、處女會、軍隊、鐵道、郵便、工場、銀行、會社等各方面に行はるゝに至れる今日本書が世の中に對して齎らせる功績は決して尠少ならざるを信ず。

廿三版發行
上製四十五錢
並製二十五錢
送料各冊六錢
菊截クロース
小形二百頁餘

家庭娛樂の淸書

天野藤男先生著 趣味教訓 四季の田園 ●定價一圓三十錢 稅八錢

山本瀧之助先生著 一日一善日記 ●定價二十錢 稅四錢

高島平三郎先生著 婦人の生涯 ●定價一圓四十錢 稅八錢

石川弘先生著 通俗孝子傳 ●定價六十錢 稅六錢

後藤靜香先生著 修養一日一善日記 ●定價十五錢 稅二錢

中村秋人先生著 田園趣味 花園生活 ●定價七十錢 稅八錢

發行所 東京市麴町區平河町五丁目 振替口座東京二〇一九一四番 洛陽堂 (電話番町四二五八)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入をこふ

東洋内科醫院

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二番　東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも新調同樣になります

殆んど和洋服

外套インバネス（東コート）ネル・セル・ショール半襟毛皮等のクリーニングと染色を

丁寧親切迅速に致します

○局部シミヌキ
○御一報次第參上

各國大公使館帝國ホテル御用

日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇入

第一家庭病院

内科
小兒科

院長　醫學士　加用信憲
（入院隨時）　牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇一）

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二三五七
東京至誠病院

給入月刊　ローマ字世界

正月特別紙數增加號—本號に限り價十一錢

ローマ字に對する私の態度……法學博士　吉野作造
日本語の數言葉に就いて……文學博士　白鳥庫吉
蛇の神……
遠くで聞える音の不思議……理學博士　藤原咲平
新しい俳句とローマ字……荻原井泉水
月夜（俳句）……同
英吉利の受けた空中攻撃……理學博士　田中館愛橘
赫夜姫（お伽噺）……高木敏雄

其他「日本語研究」に「科學」に「藝術」に實に有益な時代の先驅たる記事滿載　●尚趣味津々たる子供附錄添へあり

一部價十錢送五厘
半年送共五十錢
一年同一圓
（振替二一五〇四）

日本のローマ字社

東京市本郷區駒込曙町十一番地
振替東京二一五〇四番
電話下谷五七一〇番

料理講習會

會席料理　毎週土曜日午前中　會費一回卅五錢　束修五十錢

西洋料理　毎週月、金午前中（主として主婦の爲）　會費一回五十錢　束修五十錢

外に主婦以外の婦人の爲
毎週水曜午前中開催
會費一回五十錢束修五十錢

本郷區彌生町三番地
電話下谷六八一五番
櫻井女塾

產科、婦人科、小兒科

女醫　井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最新版

おいしい料理が手輕に出來ます

手輕でおいしい和洋料理の拵へ方

四六判美裝
説明圖振假名付
定價八拾錢
郵税內地八錢

櫻井女塾長
櫻井ちか子先生著

此の本一冊あれば金をかけないで手輕でおいしい御馳走が出來ます

櫻井先生が一番骨を折つて御書きになつた本はコレです

御主人もお子達も大喜びの御馳走が誰にもスグ出來るやうに手を執つて教へるやうな解り易い文章で親切に書いてあります

コレさへあればドンな料理でも自由自在に出來ます奥様やお令嬢方が一日も手放す事の出來ぬヨイ本で御座います。

どんな事が書いてあるか

- 朝飯のお菜の拵らへ方
- 惣菜料理のいろ〳〵
- 汁物の拵らへ方十數種
- 御主人のお喜びになる酒の肴
- 手輕に出來るお漬物
- 懷石料理のお献立
- 朝飯用の手輕な洋食
- スープの拵らへ方種々
- 魚肉と獸肉の料理法
- あつさりとした野菜料理
- お菓子及パンの拵らへ方
- 病人の喜ぶ食物の料理
- 臺所の改良案

━ 賣り切れぬ內
本日スグ御申込を乞ふ

本誌の讀者には定價の一割引にて御送りします

類書があります佐藤出版部の發行のものを御求め下さい

發兌 東京神田駿河臺鈴木町十六番地 佐藤出版部
電話本局三一八五番・振替東二九〇二九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA